

る行財政の実現を!!

システム再構築プラン!スタート年!)



一般会計・実質予算

4億減

(前年度より実質規模で4.2%減)

平成十七年度当別町各会計予算審査特別委員会は、三月九日、十日、十一日、十四日、十六日の五日間の会期で開かれました。一般会計をはじめ、水道事業会計、六特別会計を慎重に審査しました。

平成17年度
当別町各会計
予算審査特別委員会

十七年度予算は借換分を除く実質予算額で、一般会計は十六年度当初比四・二%減の九十一億八千七百九十万四千円で、他会計を含む総額は一・四%減の百六十四億六千二百四十一万二千円となり、一般会計は五年連続マイナスの緊縮予算編成となっている。

また、国は「三位一体の改革」として、国庫補助金の廃止、スリム化等の改革、所得譲与税による地方への税源移譲、地方交付税の改革等地方における歳入財源の削減化を押し進めようとしており、十七年度もこれが進むと十六年度同様、町財政に大きな影響を及ぼす事になる。

町としては、一時も早く安定した財政運営を図るためにも、地方交付税制度の堅持と段階補正をこれ以上縮減することのないように、更には、税源移譲を行う際の課税客

健全な (行財政)



左：後藤委員長 右：白木副委員長



当たつての適切な対応が望まれる。

各特別会計について

各特別会計においても、住民の健康を守る重要な会計なので、安心して利用できる制度の充実を図り、各々経営内容を十分精査し、合理化・経済性を考慮され、適正な事業執行に努められたい。

以上の通り報告したが、今後理事者をはじめ各職員において、各局の連携と事務的資質の向上に努め、町民の期待にそつよう研鑽されたい。以上、本委員会の報告とする。

体の乏しい地方の実情等を、国・道に今まで以上の要請運動の展開が望まれる。

取り分け、十六年度を大きく上回る職員の期末・勤勉手当、町三役の期末手当の削減、また、十六年度に引き続き議員期末手当の削減、そして職員管理職手当のさらなる減額措置等人件費における大幅な削減の中での予算編成であり、この実情をあらためて町民に周知し理解を得るとともに、

尚一層町民と行政が協調して、より良い行政を推進させるためにも、町政執行に当つては、限られた財源での効率的な財政運営、住民負担の適正化の推進等を十分勘案し、万全の体制で臨むべきである。

一般会計について

なお、十七年度は、行財政システム再構築プランのスタートの年であり、情報公開をより推し進め、町民と協働のもと、健全なる行財政の実現に向け鋭意努力されたい。

歳入

町税はここ三年間前年度対比マイナスの予算措置となつていたが、十七年度は十六年度対比〇・一%の微増となつている。これは徴収体制の強化、差し押さえの実行等が図られると想定されるが、業務遂行に当たつては公平負担の原則の下、町税等収入の確保に努められたい。

一方、臨時財政対策債

を含む地方交付税は、十六年度対比五・六%減の三十九億四千八百万円となつている。

いずれにしても、厳しい状況下に変わりはないが、歳入確保の取り組みについては、財政の健全化に向けて、より一層努力されたい。

歳出

力されたい。歳出では、各款にわたる行財政再構築プラン関連の予算計上となつており、執行に当つては、限られた予算ではあるが、住民サービスの低下とならぬよう努められたい。

なお、農業委員会委員六名削減については、厳しい農業行政の中、削減数が多いという少数意見もあつた。

また、教育用パソコン借上については、効果的な活用、更には万全なる管理体制も含め、使用に

議会のうごき

(平成17年2月～4月)

2月	3月	4月
2・2 28・25 24・17 4	3・1 3・7 16	4・14 4・21
<ul style="list-style-type: none"> 議会運営委員会 第1回臨時会 議会運営委員会 議会運営委員会 文教厚生常任委員会 産業建設常任委員会 総務常任委員会 議会運営委員会 	<ul style="list-style-type: none"> 議会運営委員会 第2回定例会(8、10、11、12、13、14、15休会) 平成17年度当別町各会計予算審査特別委員会(12、13休会) 文教厚生常任委員会 議会運営委員会 	<ul style="list-style-type: none"> 議会広報特別委員会 議会広報特別委員会